

令和 3 年度 第 2 回但馬地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日 時：令和 4 年 1 月 26 日（水） 14 時 30 分～16 時

場 所：オンライン開催

次 第

1. 開会
2. 但馬地域公共交通計画（案）について
 - （1）バス実証運行の結果について
 - （2）計画（案）について
 - （3）パブリックコメントの実施について
3. 閉会

議事要旨

○主な意見

[バス実証運行の結果について]

委 員：蘇武トンネル線について、利用者がいなかった便の傾向があれば教えてほしい。

事務局：主に夕方の時間帯。高校生の期末試験の時期と重なり、帰りが昼間の時間帯になったことが影響している。

委 員：蘇武トンネル線の買い物目的の利用者はどこにいつているのか。

事務局：道の駅村岡ファームガーデンの近くにはドラッグストアやスーパーがあるため、神鍋の方は村岡ファームガーデン周辺へ行っただと考えられる。

委 員：湯村鳥取線の関東方面の利用者はどのようにして実証運行のことを知ったのか。

事務局：記者会見や HP での公表、鳥取駅や湯村温泉の旅館にチラシを配布したため、そこから知ってもらえたと考えている。

委 員：湯村鳥取線は、その時々に応じて乗合タクシーのような運行などを考える必要があると思うが、そのようなサービスを広域で実践するのは簡単ではないと思う。

事務局：具体的手法については本協議会で検討していきたい。

委 員：実証運行における今後の予定について教えてほしい。

事務局：課題が多い状況だが、本格運行に向けて、更なる検討をしていきたい。

[計画（案）について]

委員：資料 2-1「但馬地域の公共交通の課題」で、「地域の移動に関する事項」の「バス路線の維持」は「公共交通の維持に関する事項」に含まれるものではないか。

事務局：記載の仕方について見直しを行い、修正する。

委員：目標値はコロナ禍以前の数値を基としており、今後の社会情勢の変化に応じて、臨機応変に変えていくという前提のもとでの目標値である。

事務局：協議会の中で目標値の修正について議論ができるように、臨機応変に検討していきたい。

委員：目標値の中で、「年」と「年度」が混在している。

事務局：可能なものは統一を図りたい。

[パブリックコメントの実施について]

事務局：本日頂いたご意見に基づき、対応が必要なものについて、パブリックコメントまでに検討して修正を行っていきたい。

委員：最終的には会長の方で確認するというで一任いただければと思う。

以上